

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんすたーだんさーず・ばれえだん	団体ウェブサイトURL	
	公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団	<a href="https://www.sdballet.com/">https://www.sdballet.com/</a>	
代表者職・氏名	理事長 法眼健作		
制作団体所在地	〒 107-0062	最寄り駅(バス停)	東京メトロ銀座線外苑前駅
	東京都港区南青山 2-22-4		
電話番号	03-3401-2293		
ふりがな 公演団体名	すたーだんさーず・ばれえだん	団体ウェブサイトURL	
	スターダンサーズ・バレエ団	<a href="https://www.sdballet.com/">https://www.sdballet.com/</a>	
代表者職・氏名	総監督 小山久美		
公演団体所在地	〒 107-0062	最寄り駅(バス停)	東京メトロ銀座線外苑前駅
	東京都港区南青山 2-22-4		
制作団体 設立年月	昭和56(1965)年 3月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 法眼健作 常務理事 小山久美 その他理事3名 監事1名 評議員5名 事務職員4名(常勤)	団員 約50名 団員加入条件:総監督、ミスレスらの審査による。	

事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	小山久美 平野綾那
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	須藤陽子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	kumi.oyama@sdballet.com / hirano@sdballet.com		

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p>1965年、太刀川瑠璃子により創立。当時のスターダンサーを集めた公演をプロデュースしたことがきっかけで誕生したことから命名された。1981年、渡邊暁雄を理事長に迎え、日本のバレエ団として初の財団法人を果たす。1996年には英国よりサー・ピーター・ライトを芸術顧問に迎えた。</p> <p>古典から現代バレエまで日本初演を含む世界的名作の数々を上演する一方、日本人振付家による新しい作品も発表し続け、豊富なレパートリーを誇るとともに日本バレエ界発展の一翼を担っている。国内公演のほかドイツ、中国、韓国などでの海外公演の実績も多く、2019年にはパリのJapan Expoにおいてバレエ「ドラゴンクエスト」を上演し好評を博した。</p> <p>日本各地の学校を巡回する文化庁委託公演及びワークショップの他、障がいのある方が気軽に鑑賞できるリラクスパフォーマンスや、パーキンソン病患者のためのダンスプログラムに取り組むなど、社会と広くかかわる活動も幅広く行っている。</p> <p>【受賞歴】  1977年 第5回ニムラ舞踊賞(「緑のテーブル」上演意義とその成果に対して)  1989年 第20回舞踊批評家協会賞  1992年 第23回舞踊批評家協会賞  1992年 村松賞(小山久美)  2023年 舞踊批評家協会賞新人賞(渡辺恭子)  2024年 芸術選奨文部科学大臣賞(鈴木稔)</p>
学校等における 公演実績	<p><b>学校公演実績 累計約200公演</b></p> <p>2005(平成17年)より、東京都「子どもたちと芸術家の出あう街」のアウトリーチ活動として都内の小学校等でワークショップや小規模公演を実施。(～2014年)</p> <p>2014(平成26年)度～ 小田原市内小学校にて公演及びワークショップを継続実施。 「バレエの世界へようこそ:チャイコフスキーの3大バレエ」</p> <p>他、平成27年度～継続 特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会が実施する「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」において小学校でのワークショップを行っている。</p>
特別支援学校等における 公演実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010(平成22年)度に本事業にて特別支援学校での公演及びワークショップに取り組んだことをきっかけに、特別支援学校用のプログラムを構成し、これまでに約30校を訪問している。</li> <li>・2016(平成28)年、特別支援学校教員や理学療法士の協力のもと障がいのある子どもたちを対象とするダンスプログラムを開催。翌年も継続開催(川崎市「パラアート推進公募型事業」)</li> <li>・2018(平成30)年には、障害のある方も劇場で芸術鑑賞を楽しめる公演リラクスパフォーマンスの取り組みを開始。これまでに全国8県にて15回開催。</li> <li>・特別支援学校へプログラムを提供するにあたっては、英バーミンガム・ロイヤル・バレエ団による学習障害者によるダンスカンパニー「フリーフォール」、米ボストン・バレエによる障害者を対象としたダンスプログラム「アダプティブ・ダンス」、米マーク・モリス・ダンス・カンパニーによるパーキンソン病患者のためのダンスプログラム「Dance for PD」等での視察・研修を経て、日本の特別支援学校に合わせたプログラムを構成している。</li> </ul>

参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	1部「バレエってなんだろう？」 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=QWTT0jZ-NSI">https://www.youtube.com/watch?v=QWTT0jZ-NSI</a> 2部「シンデレラ」ダイジェスト映像 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=BDYqLRhC8JA&amp;t=15s">https://www.youtube.com/watch?v=BDYqLRhC8JA&amp;t=15s</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 スターダンサーズ・バレエ団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	ようこそバレエの世界へ「シンデレラ」			
企画のねらい	誰もが一度は触れたことのある物語「シンデレラ」のバレエを通して、バレエによる表現方法を身近なコミュニケーションと比較しながら体験することで、敷居が高いとされるバレエを親しみやすいものとして捉えるきっかけとなるようなプログラムを企画しました。言葉を使わずに身体で表現するバレエは、論理的に理解することが求められる授業科目とは違い、頭で理解するのではなく心で感じる経験を自然に生み出すことができます。子どもたちの想像力を刺激し、また言葉だけに頼らないコミュニケーションの幅と可能性に触れる機会となることを狙います。			
演目概要・演目選択理由	<p>体育館の舞台を前方に張り出して上げ、劇場のように照明機材を設置し、本格的な舞台空間のなかでバレエをお楽しみいただきます。舞台を拡張することで、フロアに座る全ての児童・生徒たちにとって鑑賞しやすい環境を作ります。</p> <p><b>第1部 バレエってなんだろう？</b> バレエの歴史や成り立ち、表現方法について実演を織り交ぜながらわかりやすく説明します。バレエに登場する手話のような手の動き“マイム”を紹介し、続く第2部の作品が細部までよく理解できるよう導きます。児童・生徒による体験コーナーも設け、バレエに親しみを感じてもらうことを目指します。</p> <p><b>第2部 舞台をみてみよう「シンデレラ」</b> 子どもにも親しみやすい演目として「シンデレラ」を上演します。美しいプロコフィエフの音楽や見どころはそのままに、ダイジェスト版として<b>約45分</b>にまとめました。途中にはあらずじ解説も組み込まれるので、どなたでも安心してお楽しみいただけます。意地悪なお姉さんたちの愉快なシーンや、涙がほろっとするような心に響くラストシーンなど、起伏に富んだ演出で児童・生徒を飽きさせることなく、常に大きな満足感を与えています。</p> <p><b>【演目選択理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1部、2部を通して、「人と人が心を通い合わせることの素晴らしさ」をテーマに演目を選択しました。言葉に頼らない表現形態であるバレエならではの、頭で理解するのではなく心で感じる体験を通して、豊かな心を育む一助となることを願っています。</li> <li>●「シンデレラ」は、そのストーリーに誰もが一度は触れたことがあり、非常にわかりやすい演目です。バレエに馴染みのない人でも無理なく楽しんでいただけたと考え選択しました。また、「シンデレラ」の物語には、喜びや悲しみ等の様々な感情が含まれます。身体の動きと表現を通して喜怒哀楽を心で感じることができるため、子どもたちの想像力を刺激し、伸ばすために最適な演目と考えます。</li> </ul>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p><b>【小学生との共演】</b> 「シンデレラ」の一場面、十数名の児童がダンサーたちと一緒に舞台上上がり、演技に参加します。12時の鐘とともに魔法がとけて逃げ出したシンデレラを、王子が残された靴を片手に探すシーンで、王子が児童の皆さんにもシンデレラの行方を聞いて回る、という設定です。事前のワークショップではこのシーンに取り組み、それぞれの個性や能力が発揮できるよう振付家が指導します。児童の皆さんが身体表現を体験し、ダンサーたちと共演して学校オリジナルの『シンデレラ』を創り上げたいと考えています。また、ワークショップで学んだ踊りを舞台上で選抜メンバーが発表する機会もあります。</p> <p><b>【中学生との共演】</b> 公演の一部として、生徒たちによるダンスを舞台上で発表していただきます。事前のワークショップにおいてダンスの基礎を学びながらひとつの踊りとして完成させ、それをバレエ団とともに観客の前で上演します。ダンスの特性やリズムの特徴をとらえ、スペースの使い方など互いに気を配りながら、皆で踊る楽しさを味わってもらうよう導いていきます。</p> <p><b>【その他の参加・体験】</b> バレエの動きを紹介する公演の第1部では、数名の児童・生徒による体験コーナーを設けています。 小学生・・・男性に高く持ち上げられる“リフト”に挑戦！ 中学生・・・男性が女性をエスコートして支える“パートナーリング”に挑戦！</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	20～40名程度(舞台への出演者)	
		鑑賞人数目安	上限なし(収容できる範囲)	

<p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>第1部 バレエってなんだろう？ 構成・演出 小山久美</p> <p>第2部 舞台をみてみよう 「シンデレラ」 原作:シャルル・ペロー 作曲:セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付:鈴木稔</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80～100 分</p>					
<p>出演者</p>	<p>スターダンサーズ・バレエ団 団員(別添参照)</p>					
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>■「シンデレラ」演出/振付 鈴木稔 1983年に渡米し、ニューヨークのチェンバー・バレエ団、コロラド・バレエで公演に参加。1993年スターダンサーズ・バレエ団バレエ・マスターに就任する。現在、同バレエ団常任振付家として、多くの作品の演出・振付を手がけている。これまでに日本バレエ協会振付奨励賞、音楽舞踊新聞村松賞、芸術選奨文部大臣新人賞、橘秋子賞特別賞を受賞。令和5年度(第74回)芸術選奨において文部科学大臣賞を受賞した。</p>					
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 30 名 スタッフ: 24 名 合 計: 54 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 4 t 車 長: 10 m / 車高 3.80 m 台 数: 2 台</p>			
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み 有</p>	<p>前日仕込み所要時間</p>	<p>3 時間程度</p>			
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>上演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>
	<p>8:00</p>	<p>8:00～12:30</p>	<p>13:30～15:00</p>	<p>10分</p>	<p>15:30～17:00</p>	<p>17:30</p>
<p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</p>						
<p>本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>		
	<p>21日</p>	<p>9日</p>	<p>5日</p>	<p>20日</p>		
	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>		
	<p>12日</p>	<p>13日</p>	<p>11日</p>	<p>11日</p>		
	<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>		<p>計</p>	<p>102日</p>		



体育館のステージを前方に拡張。劇場のような空間で鑑賞いただけます。



1部では、バレエの歴史や成り立ち、バレエに登場する手ぶり（マイム）をわかりやすく紹介します。

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)



【1部】男性ダンサーによるリフトを体験



【1部】ワークショップで覚えたステップを披露

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



【2部】「シンデレラ」をお楽しみいただけます



「シンデレラ」共演者たちは衣裳を着て出演します

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	内部保有

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

## 【公演団体名 スターダンサーズ・バレエ団 】

ワークショップのねらい	<p>・バレエにおける知識を活用して、児童・生徒の皆さんがのびのびと自由に表現できるように指導します。「言葉で伝えること」と「身体の動きで伝えること」、その伝わり方の違いを感じることによって、コミュニケーション能力を刺激することを狙います。</p> <p>・「バレエを踊れるようになること」ではなく、「バレエへの興味関心を引き出すこと」に主眼を置き、バレエにおける表現方法を理解し、楽しみながら身体表現に挑戦します。</p> <p>参加児童・生徒の皆さんには「1. セリフによる芝居」、「2. 身振り手振りによるジェスチャー」、「3. バレエとしての踊り」という3つの実演を見てもらい、2と3の間、「2.5」のところに到達することを目標にしています。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	約50名(100名程度でも実施可能です)
ワークショップ実施形態及び内容	<p><b>【講師】</b>計6名(振付・演出家1名、指導助手5名)</p> <p><b>【対象人数】</b>上限約50名 指導者らが対象児童生徒全員にまんべんなく指導し確実な成果が期待できる体制として、約50名の参加人数を目安として提案しています。そのうえで、学校側の希望を取り入れ柔軟に対応しながら、対象の児童生徒を選んでいただいております。50名以上での参加をご希望の場合は可能な限り対応します。</p> <p><b>【内容】</b>※約90分(授業2時限分の確保をお願いしています) まずはダンサーの実演を間近で見え身体による表現を理解していただき、次は一緒に楽しく身体を動かしていきます。そして、その動きを取り入れながら、公演で共演する部分を創り上げていきます。</p> <p><b>①バレエってどんなもの？</b> 導入として講師の自己紹介とバレエのデモンストレーションの後、バレエの挨拶やポジション等、手足を用いた簡単なバレエの動きをご紹介します。</p> <p><b>②バレエの表現方法とは？</b> 「1. セリフによる芝居」、「2. 身振り手振りによるジェスチャー」、「3. バレエとしての踊り」という3パターンでのダンサーの実演を通して、言葉のないバレエの表現方法を理解します。 ワークショップでは、2と3の間「2.5」を目指そう！と目標を明確にします。</p> <p><b>③バレエのステップに挑戦！</b> 身体を動かしてバレエのステップ「ワルツ」に挑戦します。 「ワルツ」は、本公演で鑑賞する「シンデレラ」でも多く登場する踊りです。「シンデレラ」の音楽に合わせてステップに挑戦します。 参加人数に応じて、グループ分けして取り組み、講師の目が全員に届くように配慮します。 目標の「2.5」に近づく達成感を味わえるように導きます。</p> <p><b>④公演に出演する児童生徒の選抜</b> ワークショップに参加した児童生徒の中から、「ワルツの披露」「シンデレラでの共演」という2つの形で公演に参加してくれるメンバーを選抜します。(中学校では「ワルツの披露」のみ) 選ばれた児童生徒は、本公演当日に20分ほどリハーサルの時間を設けさせていただきます。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>・表現方法を理解することに主眼を置いたワークショップを通して、その後の公演鑑賞をより一層楽しめるような効果を狙っています。</p> <p>・指導者は基本的に男性4名、女性2名で構成しています。「バレエ」というと女性らしいイメージが付きまといいますが、指導者に男性が多いことで、男子児童生徒の積極的な参加を促す効果があると感じています。</p> <p>・本公演で出演する児童・生徒にとっては、照明や装置が入った大きな舞台でダンサーたちと共演し、さらに観客の前で自分を表現することは貴重な体験になるでしょう。「自分の表現が人にわかってもらえるように」工夫し、見る側にとっては「人の表現をわかってあげようとする」ことがポイントです。出演する人も見る人もどちらも、人と人が気持ちを伝えて分かり合える喜びを共有したいと思っています。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 **スターダンサーズ・バレエ団** 】

<b>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</b>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>当団は「バレエと社会をつなぐ」ことをミッションに掲げており、「敷居が高い」とされがちなバレエを、こどもたちや障害のある方へお届けする活動を幅広く行ってまいりました。身近に芸術に触れる機会を子どもたちに提供することには、2008(平成20)年より継続して参加しており、大きな喜びとやりがいをもって全力で取り組んでいます。</p> <p>参加・鑑賞する児童生徒の多くは、今回がバレエとの初めての接点となることが想定されます。本事業を通して、未来の芸術を支える子どもたちに「バレエっておもしろい」「また観てみたい」と思ってもらえるよう、劇場での公演と同様の質のプログラムをお届けすることはもちろんのこと、成長過程にある子どもたちの豊かな人間形成に寄与する事業を担うことの責任感を常に持ちながら今後も取り組んでいきたいと考えています。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p><b>[効果的に実施するための工夫]</b> 子どもたちの好奇心の扉を開くためには、芸術鑑賞だけでなく「参加する」ことが非常に重要であり、そのためテクニックを指導してその難しさを体感させるのではなく、子ども目線で「わかりやすく、おもしろい」内容であることを第一に考慮しながらプログラムを構成しています。</p> <p>(本公演共演について) 本公演共演の児童生徒について、ワークショップから本番までの期間における復習を必須とはしていませんが、ワークショップの際に先生方へ音源をお渡ししていますので、児童生徒たちの自主的な復習の際にはご活用いただけます。ご希望があれば、練習用映像をお渡しすることも可能です。</p> <p><b>[円滑に実施するための工夫]</b> 学校側にとって、あまり馴染みがあるとは言えないバレエ公演の実施は、わかりにくい点が多いため、きめ細かく丁寧な事前の説明と対応を心掛けています。先生方は授業の関係で電話に対応できる時間が限られていることが多いですが、まずはお電話にてコミュニケーションをとり、その後ご希望に合わせた連絡手段を使うことで、細かい疑問を拾い、誤解が生じないよう努めています。ワークショップの内容や公演準備については、写真とともに丁寧に説明し、ワークショップ終了後には改めて打合せをして最終確認をさせていただいています。</p> <p>基本的に学校側に物品や対応などのご準備をお願いすることはありません。同行する団体側のスタッフがすべて担っておりますので、先生方にご負担をかけることなく事業を遂行することができます。</p> <p>特殊な事情が生じる場合も、柔軟に対応策を提案させていただきます。 例①トラックの進入が不可能だったため、他校との共同開催を実施した。 例②生徒数が多く当初学校側は3～6年のみを対象に考えていたが、午前・午後の2回公演を提案し、全校生が鑑賞することができた。</p> <p><b>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</b> 事前に必ず実施校の意向を確認します。 特に特別支援学校は、障がいの程度や配慮すべき点を細かく確認させていただき、ご要望に応じた内容にアレンジしてご提案させていただきます。</p>
----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名      スターダンサーズ・バレエ団      】
出演者	<p><b>【解説】</b> 小山久美</p> <p><b>【ダンサー】</b>※内29名 愛澤佑樹 秋山和沙 池田武志 石川聖人 石川龍之介 石山沙央理 伊藤璃空 井上興紀 岩崎醇花 岩本悠里 榎本文 海老原詩織 大野大輔 小川紗季 小澤倅造 加地暢文 柏葉大歩 勝木萌香 角屋みづき 久野直哉 鴻巣明史 早乙女愛 毬 佐野朋太郎 塩谷綾菜 鈴木就子 関口啓 関口智則 高橋麗 高橋茉由 飛永嘉尉 富岡玲美 友杉洋之 中川郁 仲田直樹 西澤優希 馬場彩 林田翔平 本田千晃 前田望友紀 三澤由華 宮司知英 山内優奈 若宮嘉紀 渡辺恭子 渡辺大地</p>	